

南アルプス市 社会福祉協議会 社協だより



『台風19号』により、被害を受けた地域が広範囲で大規模であったため、南アルプス市社協ではボランティアを募集し、被災地で支援活動を行ってきました。社協職員も定期的に被災地に行き支援活動に協力しました。

■活動先: 長野県長野市、埼玉県東松山市、栃木県佐野市

■活動内容: ガレキの撤去、泥だしなど

目次

- ◆ 赤い羽根共同募金運動・ふくしポスター入賞作品紹介 ……2～3
- ◆ ふくし勉強会 ……4～5
- ◆ 第4次地域福祉活動計画策定途中経過報告 ……6
- ◆ 山梨県社会福祉大会受賞者の紹介・新理事評議員の紹介など ……7
- ◆ 寄附報告ほか ……8

南アルプス市社協ホームページへのQRコードはこちら



南アルプス市社協フェイスブックのQRコードはこちら





赤い羽根共同募金

(山梨県共同募金会南アルプス市支会事務局より)
皆様からの善意のご協力ありがとうございます。

共同募金は、戦後間もない昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ」として取り組まれています。



令和元年度赤い羽根共同募金途中経過報告

(令和元年12月17日現在)

募金種別	金額(円)	説明
家庭募金	4,459,635	自治会長・組長さんのご協力で、市内の各世帯へお願いしたものです
街頭募金	68,897	ボランティアさんのご協力を得て、店頭や社協のイベント等で行った募金です。
大口募金	1,573,458	民生委員さんにご協力いただき、市内の企業からいただいた募金です。
職域募金	658,184	事業所・職場等で行われる自発的な募金です。
学校募金	155,734	市内の小・中学校の児童会・生徒会、高校等学校単位で集める自発的な募金です。
自動販売機募金	15,153	自動販売機の売上の一部が募金になります。 (設置場所：社協本所、デイサービスゆうかり)
地域募金	107,500	老人クラブやボランティア団体など、市内の団体からいただいた募金です。
合計	7,038,561	

10月1日から3月31日まで
全国一斉に「共同募金」運動
が行われています。



赤い羽根共同募金街頭募金

令和元年度小中学校ふくしポスター入賞作品介绍(ふくしのこころを育む事業)

(順不同・敬称略)



最優秀賞

白根御勅使中学校

しみず
紀のなか



優秀賞

豊小学校

おの
せい
波



優秀賞

白根御勅使中学校

ふかさわ
深澤
ゆな
結菜



佳作

若草小学校

なかむら
中村
ゆづき
優月



佳作

若草中学校

たかはし
高橋
うぶき
初姫



佳作

白根百田小学校
おの
まさなり
小野
将成





ふれあい広場事業
(地区防災備品の整備)

集められた皆様からの善意は翌年の地域の事業や備品整備に活用されています！社会福祉協議会の事業も配分を受けて行っております。



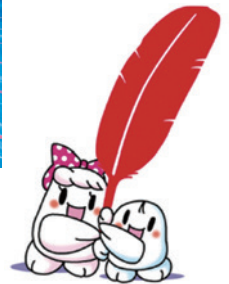
地域福祉活動推進事業
(貸出用福祉車両)



地域における減災・防災のまちづくり事業
(災害ボランティアセンター設置運営訓練)



ボランティア事業
(夏休みボランティアスクール)



その他にも多くの事業が行われています

- ボランティア事業
- ボランティア団体育成事業
- あったかサービス事業(ふれあい・いきいきサロン)
- 地域における減災・防災のまちづくり事業
- みんなで地域をよくする事業
- ふれあい広場事業
- 歳末たすけあい事業
- ふくしのこころを育む事業
- 地域福祉活動計画評価策定事業
- 地域福祉活動推進事業
- 社会福祉大会開催事業
- 広報誌(ボランティア情報、社協だより)発行事業 ほか

「赤い羽根共同募金 ~自分のまちを良くするふくし~」をテーマに、市内の小中学生に向け共同募金とふくしについて考える啓発活動として「ふくしポスター事業」を行いました。891点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作6点、審査員特別賞3点が選ばれました！



優秀賞

白根百田小学校
保坂ほさか
頼星らいせい



佳作

白根東小学校
久保田はた
萌奈めいな



佳作

白根飯野小学校
きのした
木下みなと
湊翔



佳作

若草中学校
上野うえの
空そら



審査員特別賞

白根東小学校
住友すみとも
咲希さき



審査員特別賞

若草南小学校
名取なとり
柚子ゆず



審査員特別賞

白根御勅使中学校
鳥潟とりがた
美月みづき

ふくし勉強会



南アルプス市でも様々なふくし問題が起こっています。ふくし勉強会では、市内で起きた実際の事例（ごみ屋敷、貧困、児童、高齢、障がい、孤立、孤独死など）を取り上げ、参加者同士の話し合いを通じて理解を深めていく取り組みを平成27年度から行っています。これまで市全域を対象として行ってきた「ふくし勉強会」をもっと身近な関わり合いの中でというご意見のもと、各地に出向いて「出張ふくし勉強会」を開催しています。

「出張ふくし勉強会」は市内どこにでも出張いたします！ご連絡をお待ちしています。お気軽にお問い合わせください。ふくし相談支援センター ☎284-7830

テーマ「ひとり親家庭」

八田地区民生委員・児童委員協議会

● 母子家庭の抱える課題を取り上げました

最近子供に関係する事件が多く、民生委員全体で考える必要があると思ったので。



身内の問題なら放ってはおかないと思う！



対応の仕方がケースによって異なることが分かった！

南アルプスライオンズクラブ

● 母子家庭の抱える課題を取り上げました

人と人のつながりがなくなり心配…。このような勉強会を多く実施して欲しい。



子供達とお年寄りがこれからどうしたらよいかということが勉強になった。



今やっている食糧支援などをさらに充実させられればと思う。

テーマ「認知症」

下宮地つどいの家

● 認知症により生活が変化している事例を取り上げました

普段サロンに参加している。ふくし勉強会にも参加していたが、出張してくれることを知り企画した。



今の自分に何ができるのかを考えさせられた！



身近な問題だけとわからないことが多かったのでとてもよかった！

浅原いきいきサロン・浅原きらめきクラブ

● 認知症により生活が変化している事例を取り上げました

お互いの支えあい・助けあいを合言葉に浅原地域がもっと元気になってほしい。すでにはじまっているふくし活動の理解を地域で深めるため。



他人ごとを自分ごととして考えることが大事。いつかは自分も考えることも大事。



世間にはいろいろな問題があるけれど、身近な問題を取り上げて頂いたので、考えさせられました。

中野はつらつ教室

● 認知症高齢者の事例を取り上げました

地域で支えあって、地元で暮らし続けられるようにしていきたい。



まだまだ自分自身の問題とは思ってなかったが、もうすぐ自分自身の課題となる感じた！



自分も高齢となり、「他人ごと」ではないと感じました。

曲輪田地区令和会

● 認知症により生活が変化している事例を取り上げました

曲輪田横久根地区で交流の場が始まり、ふくしについて学ぶ機会を作るために企画した。



ニュースで起きているようなことが南アルプス市でも起きていることがわかってビックリしています。



身近なことから少しでも役立てることをやっていこうと思った。

「ふくし勉強会」や普段の生活で得られた「気づき」や「つながり」などの重要性

地域福祉活動計画の策定へ

地域福祉活動計画とは・・・地域の皆様やボランティアさん・障がいや課題を抱える方々・社会福祉活動や社会福祉事業を行っている方々など、地域に住むみんなで協力して、住みやすい地域となるような活動や行動を計画するものです。

(活動計画作成履歴)

第1次地域福祉活動計画 (平成17年4月1日～平成22年3月31日)

第2次地域福祉活動計画 (平成22年4月1日～平成27年3月31日)

第3次地域福祉活動計画 (平成27年4月1日～令和2年3月31日)

・・・現在「第4次地域福祉活動計画(令和2年4月1日～5か年)」を策定しています。

A

●「地域福祉」って何？具体的に知る

・「人と人のつながり」「お互いに助けたり助けられたりする関係や仕組み」

具体的な事例から地域福祉を知る。アンテナが高い人を増やす。

●地域における地域福祉活動のネットワークづくりを計画的に進める

・地域では様々な地域福祉活動が行われている。地域において、より効果的に活動を進めるため、それらの連携、ネットワークづくりを計画的に進める。

●地域の気づきを発信・受信できる環境づくり

・地域を「気にかけて」、近所の人の変化に「気づく」こと。それに加えて「気づき」を専門職や地域へ発信すること。地域でも受信することで助けあいが生まれる。

●地域において住民の活躍の場をつくる

・地域には、いろいろな特技をもった人が暮らしている。その力を地域福祉に活かせる仕組み・環境をつくる。

C

●つながりのある地域

・災害時などいざという時に地域で結束できる日頃からの準備が必要。

・自分の住む地域に関心を持って、進んで地域行事に参加する。

●地域力の向上

・地域にある人、モノ、カネ、情報を有効的に活用し、地域力の再構築を図る。

●共生社会への第一歩

・社会的弱者への理解と地域における役割や生きがいを持てる場づくり。

・地域生活の中での接点を持つ機会をつくることで、お互いを尊重し理解し合える。

●支援者が発信し地域とつながる

・支援者が利用者のことを発信できる場を地域につくる。地域に発信することで社会的孤立をなくすとともに、次の気づきへとつながる。

各作業部会の内容

B

キーワード:

ふくし「で」まちづくり 知る機会=協議体
交流 つながる ゆるいつながり 機会をつくる

●お互いを知る



・地域には、様々な生活課題を抱え暮らしている人がいる。大変そうな様子に気づいてはいるけれど、どう関わってよいのかわからない。生活課題は何なのか、お互いに関わりがもて理解しあえる機会をつくる。

●地域を知る



・地域(人)について知る機会が少なくなった。ただ、地域には大きな力がある。その力を知ることが、いざというとき自分や隣近所の助けとなる。知る機会=協議体。

●地域に つなげる

・住民のつながりだけではなく、地域にある企業や団体とつながることも大切。
・ゆるいつながりがいざという時に発揮する。SNSも含め様々な交流でつながりを持つ。

気づいてつながるふくし「で」まちづくり

D

●「気づき」から「つなぐ」へ

○問題

地域の中では、生活課題を抱えている人の変化に気づいていることが多い。ただ、その気づきを他の人に伝えなかったり、伝えられなかったりしている。他人の生活に口出し無用という風潮から、社会的孤立がより深くなっていく。

○課題

地域住民の「気づき」を、つぎに「つなぐ」仕組みが必要。

○必要と

なること

- ①周りの人に相談できる環境を整えること。
- ②周りの住民の変化を気づくことができ、「気づき」を周りの人に「つなぐ」ことができるようになる。
- ③なるべく地域活動に参加し、交流や情報共有を図る。どんな人でも参加できる配慮をする。

※地域で扱いきれないケースは公的な機関が介入。地域のできる部分があれば、協力しながら支援。こうして地域を基盤とした仕組みが出来る。公的支援から地域へのフィードバックが必要。

5年後、南アルプス市の地域がこうなっていればいいな!

地域の誰もが幸せに暮らすためには「気づき」の視点をみんなで共有し広げていくことが重要

より市民の皆様にはわかり易く・伝わり易くするため、策定委員会で検討を重ねています。

共通テーマ

「気づき」「つながり」



地域福祉活動計画策定委員会の様子



おめでとうございます!

第67回山梨県社会福祉大会では、南アルプス市から 以下の方々が表彰されました!!

社会福祉の発展に功績のあった個人・団体表彰（順不同・敬称略）

- 民生委員・児童委員功勞 清水 一長 （南アルプス市民生委員・児童委員協議会）
- 民間社会福祉施設役職員功勞 福田 亜希子（山梨県手をつなぐ親の会）
- ボランティア活動功勞団体 子育て支援ゆりかごの会
- ボランティア活動功勞団体 折り紙ボランティアさくらんぼ会
- 金品寄附・労力提供 公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会
（南アルプス市社会福祉協議会への寄附）
- 金品寄附・労力提供 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
（南アルプス市社会福祉協議会への寄附）



理事・評議員の紹介 （敬称略）

12月に開催された理事会・評議員会において新たに次の方々が理事・評議員に選任されました。
（任期 令和3年6月）

【理事】市全域 今村 幸治

【評議員】白根 長田 悦子 檜形 櫻田 美佐子 甲西 高野 晃史
市全域 石川 敏 市全域 室田 直樹

社協会費へのご協力ありがとうございます!

皆様からいただいた社協会費はさまざまな市内の福祉事業に使われています

今年度も多くの市民の皆様には、社協会費にご協力いただき誠にありがとうございます。

南アルプス市社会福祉協議会では基本理念である「わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち」を進めていくために、お寄せいただいた社協会費は、社会福祉事業の財源として様々な事業に有効活用しています。



南アルプス市
社会福祉大会



社会福祉法人等との連携のための地域連絡会

令和元年度社協会費途中経過報告

（令和2年1月1日現在）

区分		金額(円)	説明
一般会員	個人	28,000円	社会福祉事業を行う個人
	団体	35,000円	社会福祉事業を行う団体
賛助会員	個人	133,000円	社会福祉協議会の趣旨に賛同する個人
	団体	5,000円	社会福祉協議会の趣旨に賛同する団体
合計		201,000円	

区分	地区	金額(円)
一般会員 (自治会)	八田	1,591,000円
	白根	4,750,500円
	芦安	111,000円
	若草	2,532,000円
	檜形	4,610,400円
	甲西	2,907,000円
	合計	16,501,900円

第4次地域福祉活動計画の表紙イラスト募集!!

6ページでもお知らせしたように、現在地域福祉活動計画を作成しています。市民の方が身近に感じられる計画となるようなイメージイラストを募集します。

- 募集期間：令和2年2月3日（月）～令和2年2月14日（金）
- 宛先：〒400-0332 南アルプス市鏡中條1642-2
南アルプス市社会福祉協議会 地域福祉課
- 応募方法：住所・氏名・年齢・連絡先を添えてA4サイズのイラストをお送りください。採用された方には個別にご連絡いたします。提出されたイラストの返却はいたしませんのでご了承ください。



第3次計画表紙

善意によるご寄附 ありがとうございます

- ご寄附いただいた金品は貴重な財源として社会福祉事業推進に役立たせていただきます。(順不同)

(平成30年12月25日～令和元年5月28日までのご寄附)

社協だよりVOL.32号の掲載内容に誤りがありましたので、訂正分のみ再度掲載させていただきます。関係者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

南アルプス市グラウンドゴルフ協会 榊形支部 様 ……8,000円
百々愛育班 様 ……25,000円
森山流廣乃美扇会 社会福祉舞踊森山ヒロ子 様 ……50,000円

(令和元年5月29日～令和元年12月18日までのご寄附)

南アルプス市自治会連合会 第3期第1専門委員会一同 様 ……8,450円
支えあう会「ピーチ&グレープ」代表 芦沢茂夫 様 ……12,015円
南アルプス市体育協会 社交ダンス部 代表 深沢完治 様 ……30,000円
匿名 ……3,950円
匿名 ……100,000円
南アルプス市100人会 様 ……442,485円
第23期南アルプス市農業委員会 互助会 様 ……15,947円
豊はなみずき会 様 ……10,000円
一般社団法人 南湖報徳社 様 ……50,000円

百々八区二桁会 代表 進藤吉男 様 ……10,000円
トヨタ自動車東日本労働組合 様 ……33,580円
榊形環境とリサイクルの会 様 ……50,000円
南アルプスライオンズクラブ 様 ……10,000円・食料品(2回)
マックスバリュ東海株式会社 様 ……車椅子1台
匿名 ……未使用食器
匿名 ……夏掛け布団3枚
匿名 ……タオル
匿名 ……布団2枚



南アルプス市100人会 様



トヨタ自動車東日本労働組合 様



マックスバリュ東海株式会社 様



南アルプスライオンズクラブ 様



榊形環境とリサイクルの会 様

社協について ご意見ご感想をお寄せください

〒400-0332 南アルプス市鏡中條1642-2
南アルプス市社会福祉協議会「社協 意見・感想係」
e-mailでも受け付けます。
info@minami-alpsshakyo.or.jp

【発行】
社会福祉法人 南アルプス市社会福祉協議会
〒400-0332 南アルプス市鏡中條1642-2
TEL055-283-8711(代) FAX055-283-4167
URL <http://www.minami-alpsshakyo.or.jp/>

